HOKUGA 北海学園学術情報リポジトリ
学校法人北海学園
北海学園大学
北海商科大学

タイトル	定年を迎えた胸次
著者	川上，武志；KAWAKAMI，Takeshi
引用	北海学園大学人文論集(62)：17-18
発行日	2017-03-31

Hokkai-Gakuen Organization of Knowledge Ubiquitous through Gaining Archives.

川上武志教授

定年を迎えた胸次

川　上　武　志

私が北海学園に着任したのは 2002 年の春のことで，日韓共催によるサッカーのワールドカップ大会が開かれた年でした。あれは確か六月初旬のこと，私が担当する「英米文学史」の授業の時間帯が，日本代表チームの初戦（対ベルギー戦）とぶつかっていました。「文学史」の講義は始めての経験で，覚束無い準備はよそに「どうせ今日はサッカーのテレビ観戦で大方の学生は欠席するだろう」と高を括って教室のドアを開けたところ，百人余の学生が出席していたのです。「ここの学生はなんとまじめなのだろう」と感服いたました。そこで少し早めに授業を切り上げて，「後半戦を観戦しては」と促したことをよく覚えています。

それから十五年があっという間に過ぎました。

すでに数年前に「高齢者」と呼ばれる人種となっていますので，このごろはめっきりと体力と気力の衰えを感じること頻りです。人にもよるのでしょうが，私の場合ちょうど「潮時」だと感ぜられるときに定年を迎えられて，何かと迷惑をかけるのではないかと危惧しているときだけに，正直のところ安堵しております。年を取るということは困ったもので，物忘れなども酷くなります。ある授業の時に教室にむかったのですが，途中で忘れ物に気がついて，そのときなどは一度ならず三度も研究室に引き返したことがありました。講義室が三階だったので，階段を計六回も上り下りしたので，それだけで体が草臥れてしまったということがありました。笑い話ですよね。

そんな日々のこの一年間では，定年を間近に控えた過去の先生方の言葉をよく思い出すことがあります。例えばやや遡りますが野坂先生は，「授業を一講やると，研究室のソファーに横になってしばらく休むんだ」と自嘲

気味に仰っておられました。研究室が隣という好の栗原先生の言は,「自分はいつも絶対に無理をしないことにしている」というものでしたが，先生にはある持病を抱えていた事由がありました。それからあの謹厳な濱先生です。先生とは七号館のエレベーターで同乗することがたびたびあったのですが，よく溜息を吐かれておられました。しかも定年が近づくたびにその溜息が大きくなるのです。気がつくと私も最近よく溜息を吐くようになりました。濱先生の曰く「最後の一年は本当につらかった」。昨年に定年退職された常見先生の言葉は,「十六年間があっという間に経ちましたが，何にもできませんでした」といったものでしたが，これはまさしく私の現在の心境を言い当てています。もっとも常見先生はご謙遜で言われたのでしょうが，私の方は心底お世話になった大学に何もできなかったと心苦しく感じているところです。終わりに井上先生の「人間年を取らなきゃ分からない楽しみというものがあって,老いることもそれなりに楽しいものだ」という弁は，未熟者の私などにはとても到達できない境地です。

略　　歴

川上　武志　1949 年 2 月 11 日生

学　　歴

1972 年 3 月　北海道教育大学中学校教員養成課程　卒業
1973 年 4 月　北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程　入学
1975 年 3 月　北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程　修了

職　　歴

1977 年 4 月　北海道教育大学　助手
1980 年 4 月　北海道教育大学　講師
1985 年 4 月　北海道教育大学　助教授
1998 年 4 月　北海道教育大学　教授
2002 年 4 月　北海学園大学人文学部　教授

所 属 学 会

日本イェイツ協会，日本英文学会(北海道支部)，ヴィクトリア朝文化研究学会

主な研究業績

著　書

共著：「W. B. Yeats 論 ── 塔の思想」平善介編『主題と方法 ── イギリスとアメリカ文学を読む ──』北海道大学図書刊行会，1995 年 2 月

翻　訳

イェイツ著 「アシーンの彷徨」『北海学園大学人文論集』第 51 号，2012 年

3 月

W. B. イェイツ著 『幼年時代と少年時代の幻想』英宝社，2015 年 7 月

W. B. イェイツ著 『ジョン・シャーマンとドーヤ』英宝社，2017 年 3 月

論文（本学着任以降のもの）

1．「*Purgatory* について」『北海学園大学人文論集』第 23･24 合併号，2003 年 3 月，53～63 頁

2．「イェイツのバラッド(2)」『北海学園大学人文論集』第 25 号，2003 年 10 月，91～107 頁

3．「モダニズム雑考」『北海学園大学人文論集』第 28 号，2005 年 7 月，21～45 頁

4．「W. B. イェイツの演劇 ── *The Green Helmet* をめぐって ──」『北海学園大学人文論集』第 37 号，2008 年 10 月，97 頁～125 頁

5．「W. B. イェイツとアイルランド･ナショナリズム」『年報新人文学』第 8 号，2011 年 12 月， 1 ～80 頁

6．「イェイツのイニスフリーの湖上の島」『年報新人文学』第 13 号，2016 年 12 月，38～60 頁